

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2019年7月3日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障を充実、平和でみんながしあわせになる社会に



「減らない年金」「人間らしい生活ができる年金」を

参議院選挙公示日の前日の7月3日、札幌市大通公園で、「年金引き下げNO！怒りのアクション」が行われ、約60人が参加しました(全日本年金者組合北海道本部・北海道労働総連合・北海道社保協の共催)。

怒りと不安広がる年金問題

金融庁が「老後の生活には年金だけでは足りない」として若いころからの投資などによる資産形成を国民に求めました。消費税を増税し、年金を減らす一方で、「自分で2000万円蓄えろ」という政府の姿勢に怒りと不安が広がっています。

2043年度に4割減 「100年安心」ではなかった

2004年、公明党の坂口厚労大臣が「100年安心年金」として導入したマクロ経済スライド制度は年金給付を自動的に削減する仕組みです。2043年度には基礎年金(国民年金)は年額7兆円減額になります(政府公式見解)。現在満額で6.5万円ですが4.5万円に減ります。



各分野の代表が、政府の年金に対する態度や問題点を批判するとともに、減らない年金、人間らしい生活ができる年金を求めて訴えました。現役労働者を代表して道労連の三上議長、低賃金が多い青年を代表して民青同盟道委員会の山本副委員長、国民年金のみの加入者が多い中小業者を代表して北商連の井上事務局長、低年金が多い女性を代表して新婦人の会道本部の長谷川副会長、年金生活者を代表して年金者組合道本部の渡部委員長がそれぞれ訴えました。最後に、参加者全員で、年金の充実を求めてアピールしました。

年金が参議院選挙の大争点 投票に行って年金制度を改善しましょう
消費税増税でない財源で！ 賃金大幅アップで年金保険料収入も増やそう！